

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 15 日(月) 7 時 ~ 9 時		
市町村名	白馬村	グループ名	3班
	要 旨		
	前回の質問・資料請求に対する回答 優先順位の説明		
	この資料については南しかない。北の資料が欲しい。		
	検討で効率的とは。		
	経済効果のことである。		
	経済効果とは。		
	交通量の予測、実態、高規格によるスピードがあり効率的かつ経済的である。		
	南ができてても大町より北、白馬はその効果がない。その点の考えを聞きたい。		
	南は3本もある。北は1本であり、白馬としては、もう1本欲しいのであり、経済効果でいえば人口の多い南になる。そんな事より北に1本欲しいのが実態である。		
	交通寮調査は平成6年であり、それに対しての高規格予想であり、4本 25000 台とあるがどうなのか。		
	沿道条件、交差点条件等を考慮し予測する。		
	その辺が一番の問題であると思う。豊科インターに乗る車も多い中で、交通量予測のデーターはあてにならない。		
	南のデーターはおいて、大町白馬から北の話をしてもらいたい。		
	そうでなく、データーの誤りがあれば、把握の問題、予測の不確定がある。白馬の予測にも影響が出る。		
	32年、予測交通量もやっている。北はない。		
	調査について、白馬の予測又は調査がない。ちゃんとデーターの整備をやってもらいたい。		
	大系タイムス、村でもやっている調査。		
	データーは決まった日でしかやっていない(10月)白馬は特異な村であり、渋滞のピーク等のデーターの把握をして欲しい。		
	夜間もやってもらいたい		
	ピーク時のデーターを要望する。		

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 15 日(月) 7 時 ~ 9 時		
市町村名	白馬村	グループ名	3班
	要 旨		
	実態の把握に問題。その把握をし、白馬の予測をお願いしたい。他に資料について質問ありますか。		
	なし		
	白馬村としては大町から北も高規格について要望していただきたい。白馬は賛成である。		
	連絡道路の地域の声をあげ、盛り上げていくことが大切。		
	高規格に対する声も大きい。		
	ほしい声等、県知事等にPRしていく。どのような形にしたら良いのか、熱意を持って住民運動をしていくことが必要なのでは。		
	行政、住民、どちらが対象か。		
	両方である。自然破壊しないようにルートを選定。		
	R148は出来た場合、管理はどうなるか。		
	高規格は乗る所は決まり、R148はどこからでもアクセスできる道路であり、R148を使用しないと高規格にも のれない。そのような事を考えた場合、国道として県での管理が必要と考えている。		
	インターは1箇所しか出来ないのか。		
	最低市町村に1箇所であるので複数でも良い。		
	インター位置、個別数の問題はこれからある。		
	大町以南は国道と市町村に移管するのか。4本あるが。		
	現在は市町村に移管は考えていない。		
	高規格がだめになった場合、公団も民営化になり、大町より北は何も無い状態となる。将来のためにも今、高規格が必要である。取り残されないようにしてもらいたい。		
	資料で比較。ルート、白馬―小谷間ABCDがあり、白馬がない。小谷村の比較のみである。小谷村は細かく書いてあるのに白馬がない。大町～白馬はどうしてないか。		
	資料調査する。		

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 15 日(月) 7 時 ~ 9 時		
市町村名	白馬村	グループ名	3班
	要 旨		
	白馬商工会チラシで4車線、時速60～80kmとあるが正しいか。		
	2車線では対面交通となり、片側との分離ができない。		
	4車線が確保されるルートであるか。(資料/概略検討)30億～50億/1kmの予算もそうか。		
	そうである。トンネル、橋を含めた概ねの価格であります。		
	小谷ABCDルートにも金額が書いてある。白馬が書いてない。		
	予算はどこが持つのか。		
	国1/2、県1/2(県でやった場合)国2/3、県1/3(国でやった場合)		
	国でやる場合は、どういう条件があるのか。		
	技術が高度、費用が高いと直轄もあり得る。		
	国がやるのか、県がやるのか、決まっていないのか。		
	決まっていない。国に代行等、要望して行きたい。		
	再度聞きますが、国でやってもらうには		
	高度な技術、費用が大きいとき国が行う場合がある。新潟でも国にお願いしている経過あり、長野県も要望していく。		
	国がやってくれる困難な状況とは。		
	状況による。		
	資料で概略ルート白馬に線があるがどの辺を引いてあるか		
	概略なのでどことは言えない。あくまで検討である。国・県事業を行うのは、どちらかは分からない。		
	主体性はどちらにあるか。国か県か。		
	長野県に今はある。		

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 15 日(月) 7 時 ~ 9 時		
市町村名	白馬村	グループ名	3班
	要 旨		
	木曽川右岸道路は県でやっているが、財源の問題(30~40億)15年もかかると聞いている。		
	過去の道路財源予算で県の予算がそっくり行く事になる。		
	高規格の予算化の裏付けはしっかりしているのか。何十年もかかるようでは困る。		
	ピーアールとしてどのようにあげていくか、商工会でも要望しているので、要望、署名していったら良いのでは。		
	意見交換会の賛成意見等を公開していけばよいのでは。		
	白馬村としての統一を図って行く。住民意識のない人もいる。		
	将来の白馬に影響も大きいので、意見交換会、商工会の道路要望をあげて行く事が大事。		
	長野に行く高規格の要望最初であったが、オリンピック道路が整備されている。これからは南への高規格が必要。		
	意見交換会参加者が少ないと、一部の声ではないか、賛成者のみの声ではないかと、疑問を持たれるかもしれない。皆さんに分かってもらうためにも、要望していくにも、説得力がないのではないかと。		
	白馬村民の集会を設けて、十二分な説明会をやり、住民の意識の高揚を図ることも大切なのは。		
	他のグループの意見を知りたいが、27日の集会はどのようなになるのか。		
	・8つのグループの代表が発表。意見の集約、個々の意見の発表。 ・全体の意見の集約をし、地区別に意見交換会を実施(南安曇、大北) ・集約はしない(賛否)		
	住民のために意識を高めていくには、何が必要か。大北でも話の最中に自然が大事であり、道路より自然という方の説得はどのようにしたらよいか。		
	パネルディスカッションをやったりして、意識を高める。		
	賛否の方々に聞いてもらい、ディベート的な討論会をしたら良いのではないかと。		
	反対でも賛成でも、住民が関心を持ってくれることが必要ではないかと。白馬の人々は、関心が薄い。		
	まとめ 道路に対しての関心の取り組みを持つような意見交換会をこれから議題とする。		